

今必要なのは、一人ひとりが強い自覚を持った感染予防です

8月2日(月)から8月31日(火)までの間、兵庫県にまん延防止等重点措置が適用されました。

今回の流行は、感染力が非常に強いデルタ株が中心となっており、40代や50代の方でも重症化する患者が続発していることから、今まで以上に徹底した対策が必要です。

新型コロナウイルス感染症は、高リスクの行動を避けることにより十分予防可能な疾患です。今私たちに必要なのは、一人ひとりがこれまで以上に強い自覚を持ち、地域社会全体で感染予防に取り組むことです。

1 帰省を含め、都市部等の感染拡大地域との往来を控えましょう。

最近2ヶ月の淡路地域での初発患者の多くが、都市部等の感染拡大地域との往来や帰省に伴うものです。特に都市部等での食事や飲酒の場への参加は徹底して避けましょう。

事情により家族や親族が帰省した場合でも、家の中でのマスクの着用、食事は別々に取るなど感染対策に注意しましょう。

2 人と出会う時は、常にマスクを着用しましょう。

短時間でも、少人数でも、近所の人でも、マスク無しでの会話は特に高リスクです。

3 お茶や食事など飲食の際は会話を控えましょう。会話する場合には必ずマスクを着用しましょう。

食事の相手が無症状でも全く安心できません。特にお盆の期間など親族や友人等が集まって食事をすることは控えましょう。

4 体調異常があれば、登校（部活動の参加を含む）や出勤を控え、予め電話で相談の上、早期に医療機関を受診しましょう。

5 ワクチン接種について、副反応等の誤った情報には惑わされず、正確な情報に基づき積極的な接種をお願いします。

令和3年8月5日

| | |
|--------|-------|
| 淡路県民局長 | 亀井 浩之 |
| 洲本市長 | 竹内 通弘 |
| 南あわじ市長 | 守本 憲弘 |
| 淡路市長 | 門 康彦 |